

海星 6月

薩摩川内市立海星中学校
平成29年6月30日発行

笑顔で迎える十五の春に

校長 瀧上 盛人

異常気象の影響か、今年は、桜の開花も2週間ほど遅れましたが、梅雨に入っても雨の降らない日が続きました。これから梅雨末期の雨の降り方が心配ですが、災害が起きないことを願っています。

さて、先日、海陽中学校との合同開催による高校説明会を実施しました。2・3年生を対象とした説明会で、生徒は高校の先生方の話を聞いたり、質問したりするなど、進路について真剣に考える良い機会となりました。

進路を考える上で、私にとっては、忘れられない苦い経験があります。今から四十年近くも前の話です。私の十五の春は、厳しく辛い春でした。

公立高校受験に失敗した私は、私立高校も受験しておらず、進路を失っていました。合格発表の夜、海の男にあこがれを持っていた私は、「自分は漁師になりたい。マグロ船に乗る。」と、父と大喧嘩をしました。

翌日朝早く、隣に住む祖父に呼ばれました。当時八十歳だった祖父は、「盛人、お前は何歳よ。じいちゃんが年まであと六十五年あらよ。一年たっても六十四年。六十五も六十四もそげん変わらんよ。父ちゃんに頭を下げて、もう一年頑張ってみらんか。」と諭されました。その夜、父に頭を下げて、もう1回チャンスをもらい、一年間頑張ってみることにしました。実家は、農業であり、昼間に自分一人だけ勉強している環境にはなかったもので、無理を言って鹿児島市内の予備校に出してもらおうことにしました。

出発の朝、父は、送っていくどころか、旅立つ朝の見送りもせず、畑仕事に出かけていて姿はありませんでした。一年間も家を離れる息子の旅立ちに見送りもしてくれない父に腹が立ちました。

母に、「父ちゃんに『気張ってくっでなあ。』と一言言ってから行かないかんでねえ」と言われ、鹿児島に行く途中、ビニールハウスにより、しぶしぶ「気張ってくっでなあ」と、父に声をかけました。そこには、泣きながらスイカの受粉作業をしていた父の姿があり、「気張ってけ一よ。」と一言だけでした。

生まれて初めて見た親父の涙に、はっとしました。私は、一番追い込みをしないといけない時期に勉強をせず、結果として親に迷惑をかけてしまったことを悔やみました。鹿児島に着くまで涙が止まりませんでした。予備校時代は、この親父の涙が自分の支えとなり、必死に頑張りました。そして一年後、本当の春を迎えることができました。

高校受験に失敗したことは、つらい体験でしたが、この一年間の経験は、今の自分を支えてくれていると思います。

しかし、海星中学校の生徒には、私と同じ失敗、後悔はして欲しくないと思っています。だから、後で後悔しないために、そして、十五の春を笑顔で迎えるために、今、頑張ってください。行ける高校を探すのではなく、自分の将来の夢を実現するために目標を持って高校生活を送れるように頑張ってください。

海星中・海陽中 生徒会交流会

生徒が互いに交流することにより、多様な考え方に触れ、視野を広げたり、深めたりすることを目的に海陽中学校と交流活動を今年度初の試みとして実施しました。

始めに生徒・職員の自己紹介をそれぞれ行った後に、各学校の生徒会活動の紹介を行いました。同じ下甌島の中学校ですが活動内容にそれぞれ特色があり、今後の活動の参考になったのではないのでしょうか。また、両校の校歌を披露し合ったり、レクリエーションを行ったりと笑顔で交流している姿が印象的でした。

高校説明会では両校の2・3年生が8校の高等学校から、学科説明や学習内容等の特色を聞きました。生徒は「詳しく、それぞれの学校について知ることができて良かった。これから第一希望の高校に合格できるよう頑張りたいと思う」と感想を書いていました。夏休みには昨年度卒業した生徒から、進学した高等学校の様子を聞いたり、質問したりする「高校生と語る会」も計画しています。多くの進路情報をもとに進路を決定して欲しいと願っています。

1年生は2・3年が高校説明会を実施している間に、合同で理科・国語・英語の授業を受けました。海陽中の教諭も授業に加わり、人数も2倍となり、普段より賑やかな雰囲気の中、それぞれの意見を交わし合いながら学習することができました。

【生徒感想より】

- 生徒会交流会で海陽中の1年生の顔と名前を覚え、全員と話をすることができました。下甌島の中学生は全員合わせても36人しかいないことを知り、互いに協力しないといけないと思いました。
- 交流の前は不安でしたが、3時間一緒に授業を受けたり、給食を一緒に食べたりして、とても仲良くなれました。海陽中の生徒は声が大きく、あいさつも大きな声だったのでびっくりしました。また、海陽中と交流したいと思いました。

交通安全教室

駐在所から巡査長をお招きし、交通安全教室を実施しました。

本校生徒の自転車所有者や利用者は少ないようですが、進学後は自転車へ乗る機会も増えてくると考えます。その際に事故

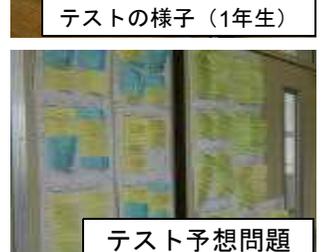


に遭遇することがないようにこのような機会を設けています。

指導講話では鹿児島県の交通事故件数や中学生の事故件数、道路標識の問題も交えながら話をいただきました。そして、交通事故を防止するには「かもしれない」の励行を徹底してくださいと話されました。生徒も夏休みを前に、交通安全への意識を高める機会となりました。

1学期末テスト

6月21日から2日間にわたって、期末テストを行いました。1年生にとっては中学校の初のテストとなりました。テストの事前取組として、各学年ともそれぞれが目標点を決めたり、予想問題を付箋紙に書いて教室に掲示し、問題を解いたりしました。学校ではこれまで学習した内容が未定着とならないようテスト後の復習を行っていきます。御家庭でも声かけをお願いします。



小中一貫教育の取組

6月26日に鹿島小・長浜小の職員が集まり合同研修会を実施しました。中脇教諭と前下教諭（長浜小）が1年生を対象に社会の授業をしました。

「聖徳太子はどのような政治を目指したのか」という学習課題に対して、前下教諭が既習内容の確認を行いました。生徒は小学校の学習内容を思い起こしながら、聖徳太子について知っていることを発表し合っていました。また、たくさん先生方が参観していましたが、生徒は自分の考えをしっかりと伝え合いながら学習していました。授業後は全職員で授業研究を行い、自身の授業改善の研修を行いました。



各種表彰及び大会結果について

- 表彰 実用英語技能検定 5級 1年 福嶺 日菜 さん
- 表彰 南日本七夕書道展 南日本書道会賞：1年 瀧上 彩花 さん
- 川薩地区中学総合体育大会（女子バレーボール）結果
予選：海星・海陽中合同 0-2 東郷中
海星・海陽中合同 2-0 水引中
決勝：海星・海陽中合同 0-2 宮之城中

日	曜	7月の主な行事
7	金	授業参観・PTA・生徒引き渡し訓練
10	月	スマートフォン教室
12	水	魚捌き体験
19	水	ものづくり体験
20	木	終業式